

えびょんと海の豊かさを守ろう

in 2022

第23回環境展特別企画

【募集期間】2022年7月29日～9月9日迄

【実施期間】2022年9月10日～10月10日

【対象】本学学生

【応募方法】応募用紙を環境センターにE-MAILにて送付して下さい。

【その他】キャンペーンの参加にあたっては、新型コロナウイルスの感染拡大の予防に関する本学の指針等を参考にして、3密(密閉・密集・密接)を避けて、十分に感染予防の対策を講じて下さい。

ペットボトルやレジ袋を始めとする使い捨てプラスチックは、我々の生活を便利にしましたが、「海洋プラスチックごみ」による地球規模の海洋汚染の一因となっています。

「海洋プラスチックごみ」は、「マイクロプラスチック」となって、長期にわたり海に残るため、2050年までに魚の重量を上回ることが予測されています。

「海洋ごみ」の約八割は、街から川を經由して海に流れ出ているとされており、「海洋ごみ」を減らすためには海だけではなく、街においても「一人ひとり」ができることから取り組むことが大切です。

環境センターは、「第23回環境展」特別企画として、皆さんがどこにいても参加できるキャンペーンを企画しました。

参加された方には、もれなく、特製えびょんエコバッグとノートブックを差し上げます。

使い捨てプラスチック削減を目指して、皆で協力できることから始めましょう。

関連するSDGs



法政大学は、「持続可能な地球社会の構築を目指す拠点」としてSDGs(持続可能な開発目標)の重要課題と関連づけて取り組みます。

2022年7月 法政大学環境センター

TEL:03-3264-5681, E-MAIL:ickankyo@hosei.ac.jp

概要

・実施期間:2022年9月10日～10月10日

・対象:本学学生

・参加者数:4名(内訳:1年1名、2年2名、3年1名)

「海洋ごみ」の約八割は、街から川を經由して海に流れ出しています。「海洋ごみ」を減らすためには、海だけではなく、街においても、「一人ひとりができること」から取り組むことが大切です。

参加実績(延べ人数)

- 1)使い捨てプラスチック(レジ袋、ペットボトル、プラスチック製のストロー・スプーン・箸、プラスチック製容器・包装を使用した日用品等)の使用削減 :4名
- 2)プラスチック製の文房具等の再利用 :0名
- 3)プラスチックの代替素材を活用した物品の活用:0名
- 4)使用済のプラスチック製の物品回収(ペットボトルキャップ、歯ブラシ、トナーカートリッジ等):1名
- 5)その他[例] :0名

参加者全員より「本キャンペーンに参加後に、地球環境問題に対する意識は変わった」と回答がありました。



月形 美彩子

(社会学部メディア社会学
科 1年)

取組分野:

1)使い捨てプラスチック
の使用削減

【キャンペーンに関連した具体的な活動内容をお知らせ下さい】

ペットボトル飲料を購入する際にラベルがない商品をネットで注文することで、使い捨てプラスチックの使用削減をします。

【参加にあたっての抱負をお知らせ下さい】

夏休みに海に遊びに行った際に浜辺に打ち上げられたビニールごみの多さに驚き、自分の身近なところから、少しずつではありますが行動を変えていこうと思いました。

【キャンペーン活動報告】

ラベルレスの商品はバリエーションが少なく、苦戦しましたがどうにか完遂することができました。

【参加後、地球環境問題に対する意識は変わりましたか？】

変わった。 ペットボトルのラベル以外にも、プラスチックの使用削減ができるのではないかと今一度考える機会になった。

【キャンペーンに参加した感想や皆さんへのアドバイスをお知らせ下さい】

これからも今回の取り組みを継続していきたいです。

【キャンペーンに関連した具体的な活動内容をお知らせ下さい】

買い物をする際には、自前のカバンや風呂敷も持って行き、プラスチックが含まれる品をできるだけ買わない。同じ中身であれば、ペットボトルではなく紙パックのものを買う。

【参加にあたっての抱負をお知らせ下さい】

今まで、プラスチックに注目して買い物をする事はなかったので、新しい取り組みを頑張ります。

【キャンペーン活動報告】

スーパーや百均などで買い物をする際には常にカバンを持っていたので、レジ袋を貰うことはなかった。ジュースを買うときはペットボトルではなく紙パックで買い、肉を買うときはお店に返却ができるトレーに乗っている肉を買った。

【参加後、地球環境問題に対する意識は変わりましたか？】

変わった。身の回りのプラスチック容器に意識が行くようになった。

【キャンペーンに参加した感想や皆さんへのアドバイスをお知らせ下さい】

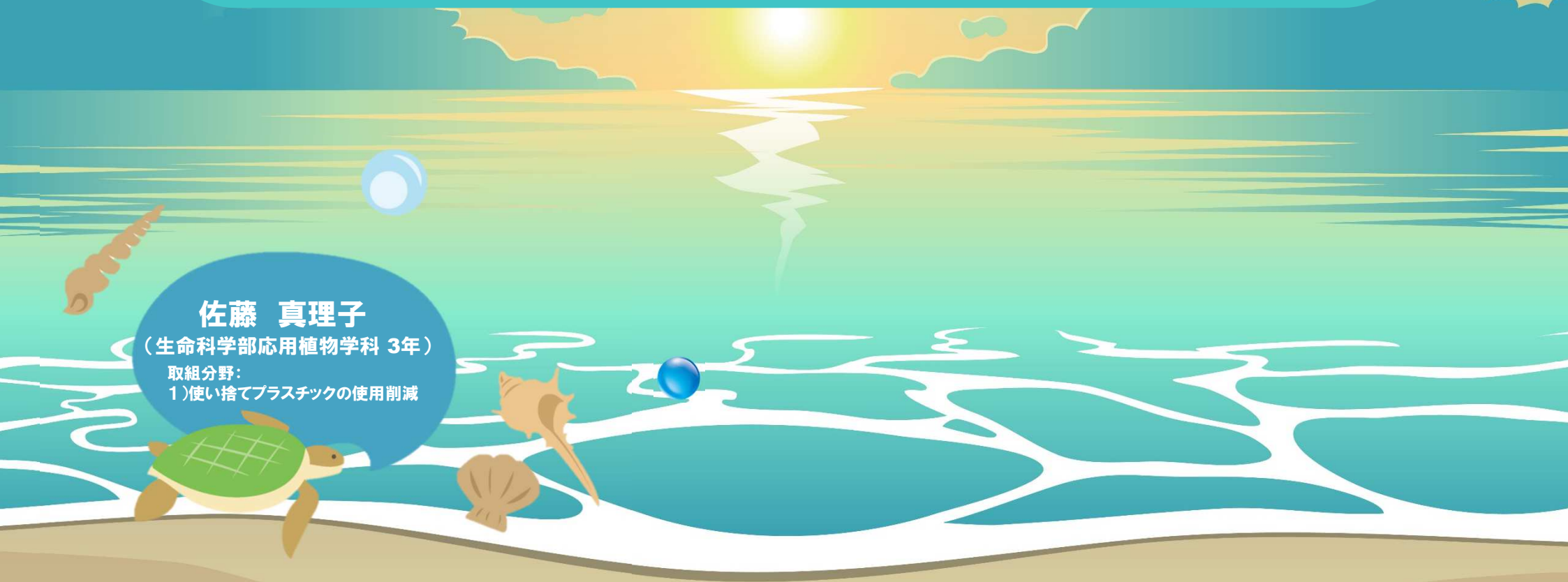
百均の物でも食品でも、プラスチック製の包装が多くプラスチックが含まれない品はほとんどなかったため、商品選びが大変だった。

佐藤 真理子

(生命科学部応用植物学科 3年)

取組分野:

1)使い捨てプラスチックの使用削減



田邊 晃史

(生命科学部環境応用化学科2年)

取組分野:

1)使い捨てプラスチックの
使用削減

【キャンペーンに関連した具体的な活動内容をお知らせ下さい】

使い捨てプラスチックの流出を防ぐためにレジ袋の使用削減を図る。
外食や惣菜の購入を控える。

【参加にあたっての抱負をお知らせ下さい】

本キャンペーンにおいて、地球環境問題の解決の一助になればと思い参加しました。

【キャンペーン活動報告】

買い物の際にマイバッグを持参し、レジ袋を受け取る若しくは購入しなかった。買い物10回に対し、全回マイバッグ持参により削減率100%となった。

【参加後、地球環境問題に対する意識は変わりましたか？】

変わった。 海洋プラスチックごみの削減にはレジ袋の使用削減のみでなく、適切な排出も重要であると意識するようになった。

【キャンペーンに参加した感想や皆さんへのアドバイスをお知らせ下さい】

今回はレジ袋削減による活動を重視したが次回は他の観点からも取り組みたい。個人の取り組みには限界があるので、皆で力を合わせて取り組みましょう！



【キャンペーンに関連した具体的な活動内容をお知らせ下さい】

同じレジ袋を何回も買い物に使います。ペットボトルをその体の中から切り分け、上の部分を漏斗として、そして下の部分をコップとして利用します。部屋用芳香剤のスプレーボトルを回収し、染料を入れ、ゼミで芸術作品を作るツールとして利用します。

【参加にあたっての抱負をお知らせ下さい】

今回の活動へ参加させていただき、海洋汚染に関する問題を解決する大切さを知りたいです。具体的な取り組み現状や、取り組みが活動により分かる上で、問題解決のため、自分のできることを再び考え直したいです。そして、今回の活動への理解や、活動での経験を学生時代だけでなく、将来社会人になった後にも最大限に活かしたいです(例えば製造業の企業の企画部として、経済的な利益だけでなく海洋への汚染への防止も頭に入れることが出来ます)。

【キャンペーン活動報告】

友達と一緒に同じレジ袋を10回以上も買い物に使ってみました。実際にペットボトルをその体の中から切り分け、上の部分を漏斗として、そして下の部分をコップとして利用しました。自分の部屋へ訪ねた方を招待する際に、実際にこのようなコップを使っていたら、高評価されました。そして、部屋用芳香剤のスプレーボトルを回収し、染料を入れ、ゼミで芸術作品を作るツールとしても利用してみました。そのツールを頼りに想像以上に効率的にウォール・ペインティングが書けるようになりました。

【参加後、地球環境問題に対する意識は変わりましたか？】

変わった。少し生活の習慣を変えることだけでも、環境保護へ貢献できることがよくわかりました。地球環境問題を解決するのに、必ずしも政府による新たな規制や、ルールの実施する必要性があると思いません。それよりも、一人一人のライフスタイルへの創意工夫と環境への意識が大切に扱うべきです。今回のような「面白いこと」、「遊び」のような発想に基づいた活動を参加するように、今後も他の色々な形でこのような積極性を発展させようと私が考えました。

【キャンペーンに参加した感想や皆さんへのアドバイスをお知らせ下さい】

かわいいエコびよんと一緒に環境を守ることが、私の人生における最大の幸せです。またエコびよんに会いたいです。

ZHANG Tianyi

(国際文化学部国際文化学科 2年)

取組分野:

- 1)使い捨てプラスチックの使用削減
- 4)使用済のプラスチック製の物品回収
(ペットボトルキャップ、歯ブラシ、トナーカートリッジ等)